

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	航空電子機械工学特別研究（Aeronautical、Electronic & Mechanical Engineering Studies）		
ナンバリングコード	M40303	大分類 / 難易度 科目分野	航空電子機械工学専攻 / 総合レベル
単位数	10	配当学年 / 開講期	1 年 / 通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	M512503	クラス名	藤田研究室
担当教員名	藤田 浩輝		
履修上の注意、 履修条件	大学院修士課程2年間を通しての研究活動の全てを対象とする科目です。 大学院修士課程における研究活動の全てを対象とします。テーマに沿った先行研究や文献の調査、研究計画の立案など主体的に実施するとともに、積極的に議論に加わり、成果に結びつくよう継続して努力してください。		
教科書	特に指定しません。		
参考文献及び指定図書	研究内容に応じて適宜参考文献等を指示します。		
関連科目	飛行力学, 制御工学基礎, 航空宇宙プログラミング, 航空宇宙数値解析		

○基本情報		
授業の目的	大学院修士課程を修了した者として期待・要求される素養を身に着けることを目的とします。 結果として、関連する分野での水準に達する研究成果が得られることを期待します。 なお、本専攻のディプロマ・ポリシーに基づき、地域や社会の発展に貢献したいという高い志を支援できるように、多分野複合的見地からの研究テーマを選定する。	
授業の概要	航空宇宙工学における軌道力学、飛行力学、計測・制御工学に関する分野の中から、最新の研究動向を鑑みて研究テーマを選定し、文献調査、問題のモデル化、理論解析および計算機を利用した数値シミュレーション、実験面からの検証などの段階を経て、研究のプロセスを修得します。 研究の過程では、学生同士あるいは教員との議論を通じて、自身の行っている研究の内容や成果を伝える能力を身に着け、最終的な成果を社会へ公表できるようにまとめる力を養います。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当なし	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100%)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー①】	・特定の研究背景について自主的に調査・理解しようとする姿勢を身につけることができる。 ・特定の研究に関する背景を正確に理解することができる。			30%
【ディプロマ・ポリシー②】	・研究課題を解決するための理論や実験手法の導出を行うことができる。 ・上記手法に基づき、課題解決のための周囲との情報交換や協力体制を築くことができる。		20%	20%
【ディプロマ・ポリシー③】	・課題解決のための手法導出や実験結果を通して産業界・社会のニーズを満たす専門能力を身につけ、ものづくりに活かすことができる。		30%	

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPIに準じています。

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)

取り組みの内容により総合的に評価します。達成水準の目安は以下の通りです。
[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。
[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。
[Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。
[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

大学院修士課程2年間を通した研究活動の成果は、国内外の学会(学術講演会)、あるいは、学術誌において発表を行ってもらいます。

